

# 令和6年 第1回恵庭市文化財保護委員会 資料に対する各委員からの質問・意見及び事務局よりの回答

(恵庭市文化財保護委員会内容)

開催年月日：令和6年7月30日

出席者：内田委員、高橋委員、土屋委員、久瀧委員、白幡委員、市橋委員

(事務局) 狩野教育部長、山口教育部次長、高野郷土資料館長  
大林総務担当主査、長町史跡・重要文化財担当主査  
鈴木埋蔵文化財担当主査、太田主任主事

## 1. 開会

## 2. 委嘱状交付

## 3. 教育部長挨拶

狩野教育部長挨拶

## 4. 議題

### (1) 令和6年度主な事業計画について

事務局	令和6年度主な事業計画について<資料説明>
質疑	
A委員	収蔵資料の管理は、紙ベースですか。
事務局	データベースです。
A委員	紙による整理はしていますか。
事務局	紙によるものは昔作ったものが今もあります。
B委員	資料収集の高齢者の聞き取りですが、95歳の方の聞き取りが始まって良かったと思います。大変だとは思いますがよろしくお願いします。
A委員	資料の活用について、4つのテーマがありますが、パッケージになっているのですか。
事務局	あらかじめ学校にリストを送りまして、宅配なのでこちらからお届けしています。去年ははじめて恵庭蝶研究会から頂いた蝶の標本を貸出ました。
A委員	何校くらいが借りているのですか。
事務局	すべての学校です、2週間おいて頂いて2週間たつたら回収し次の学校にお届けしています。
A委員	子供の目につくので良いことだと思います。

C委員	西島松5遺跡の重要文化財指定について、市民に郷土資料館の活動をPRする機会にもなります。市全体としてもPRになるので色々な活動をした方がよいのではないか、恵庭にはたくさんの遺跡があることを市民に認識してもらうことで郷土資料館の活動が認められるのではないか。
	身近なところに遺跡があつて発掘現場を先生と見せてもらったが、新鮮で感動したので子供たちにも現場に行き見せてあげることができれば良いのではないか。
事務局	西島松5遺跡については、広報課の方でも特集記事を載せたいという話があります。市民の方に広く知ってもらいたいので重要文化財指定が官報告示されましたら今年度予算化し、来年度に出来ましたら資料館で常設展示、記念の講演会やシンポジウムなどを考えてまいりたい。前回の委員会で事業が多すぎる中で調査研究という話も出ていましたので、今年度国立アイヌ民族博物館と共同研究する事業を実施し、当館の学芸員と国立アイヌ民族博物館の学芸員で西島松5遺跡の出土品と同じ時期に出土したユカンボシE7遺跡出土品をアイヌ博さんのCTなどの装置を借りまして分析し比較します。そして7世紀の擦文文化からどのように13世紀以降のアイヌ文化に繋がっていたのか、将来的な基礎資料とする研究を採択していただいたので年報に発表したり学会に発表し、来年以降には展示で市民に成果を見ていただき活用を図って行きたい。
	現在恵庭では、139カ所の遺跡が確認されていて、恵庭の特徴としては市街地と遺跡の分布が重なっており、恵庭市内に小さな川流れているのが要因となっています。令和4・5年度に発掘調査を実施した柏陽町の柏木川9遺跡のように、先生や子どもたちが発掘調査の様子を現地で御覧頂くのは効果的であるが、発掘調査そのものを目的として調査地を選定しているのではなく、道路工事や商業施設の建築工事に応じて発掘調査を実施しているため、子供たちに見せる目的とした発掘調査は出来ておりませんが、カリンバ土曜講座で発掘調査成果の解説を行っているほか、令和5年度は千歳市との共同事業で恵庭駅からカリンバ遺跡まで歩いてカリンバ川流域の遺跡の発掘調査成果を現地で解説したところでございます。今後もカリンバ土曜講座はじめ色々な講座を行い遺跡が沢山ある特殊性をPRして行きたい。
A委員	西島松5遺跡の重文指定の理由を教えてください。
事務局	7世紀から9世紀ころのお墓から金属製品がたくさん出てきた。北海道では金属製品を作れなかった時代であるが、道内で出土した約4分の1にあたる170点以上が西島松5遺跡から出土した。刀類、鉄斧、矢じり等が出ており特に刀類、太刀については近畿地方で作られたもので下賜されたものであろう、方頭横刀については東北地方で作られたものでないかと考えられている。北海道と本州の中央集権や東北地方北部との関係を強く示している資料ということで西島松5遺跡出土品が重要文化財に指定されました。
A委員	太刀とか刀については国立アイヌ民族博物館の職員でかなり詳しいものがおり、金属製品の調査でもっと色々わかってくるのではないか。
B委員	6Pについて最近恵庭では、照会等土地の動きが出てきていますか。
事務局	埋文照会も最近100件を超えていますし、事前協議も20件ありますので増えています。恵庭に土地がなくなっているので建物の取り壊しによる建設等が増えております。

事務局 新市街地の造成の部分と新商業地域の造成、工業団地の部分について、まちづくりを進める担当部署と連携をとりながら進めているところです。用地買収もこれからのお話になりますので、土地開発基金として10億円の補正予算をつけて基金を作ったところです。

A委員 アイヌ政策の方も恵庭市がいろいろやって頂いているのでこれからもよろしくお願ひいたします。

A委員 他にありませんので令和6年度第1回文化財保護委員会を終了いたします。